

事務長会報第32号

平成24年10月1日

長崎県公立学校事務長会

長崎北高等学校内

〒851-1132

長崎県長崎市小江原1-1-1

電話 (095)844-4411



ホテルモントール長崎

TEL 095-822-2251

長崎市筑後町4番10号



事務長会の変遷と事務長の在り方

副会長 (太村高等学校) 才 津 雅 男

長崎県公立学校事務長会は、何をするとところだろう。という声を耳にします。

そこで改めて、今の会則がどのようにしてできたのか。30周年記念誌(長崎県公立高等学校事務長会発刊)等から歴史を紐解く事にしました。

昭和30年4月、全国に先がけて県立学校に事務長が配置され、同時に事務長会が発足しています。その目的は「本会は県内公立高等学校教育振興に寄与し、会員相互の親睦を図ること。」、また性格は「友誼団体として活動し、職能団体又は交渉団体の体面はできる限り除外し、親睦並びに情報交換の場として、あくまで友好的に関係機関と接触し、話し合いの中で要望事項を取り入れ、会及び会員相互の理解向上を図り、将来の展望に期待する。」となっています。

昭和52年、全国公立学校事務長会が発足し、「事務長の職務・職制の法制化」、「学校事務組織の整備拡充」及び「事務職員の処遇改善」の3本柱で展開してきましたが、平成12年頃の教育改革に沿って、平成15年度の総会で、その3本柱の路線変更を行い、教育等関係機関に政策提言ができる職能団体として、研究研修活動に重点を移していくことが決議されております。

長崎県公立学校事務長会も同時期の平成17年4月の総会で会則を改正し、目的も「本会は、本県学校教育の一層の充実を図るため、時代の変化に対応した学校事務の改善と自らの資質の向上に努め、会員相互の連携を深めること。」、事業も「学校管理運営に係る調査研究」、「事務長・事務職員の職務・職制に係る調査研究」、「高校と特別支援学校等の関係団体との協力連携」等となり、全国事務長会と同じく政策提言ができる職能団体を目指して、現在に至っています。

私事ですが、平成18年2月、急遽人事発令され、新人事務長として壱岐商業高校に赴任しました。年度中途ということで、事務長心得などなく即実践です。先輩事務長の村中諫早高校事務長(当時)さんには何十回ともなく、事

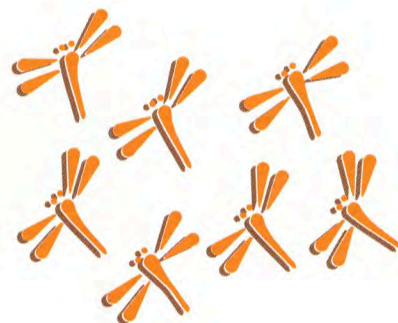
務室外で毎日電話して御指導を受けました。何の仕事をしたのか。皆目わからないまま卒業式へ、祝辞・祝電の紹介です。何度も何度も単身の部屋で訓練です。ほんの数行の文書ですが、本番は多くの人の前で話すことに上がってしまい、本当にできたのか不安でありました。

明けて、平成18年度は入学式から行事に追いかけられ、事務室の内容を見る間もありませんでしたが、2年目から先の学校と何か違う所がありましたので、経緯・現状・関係機関の調査を行い、校長と相談し事務内容の変更を行いました。関係者には大変申し訳なく思っておりますが、監査等での指摘を受けると回答ができない状況でありましたので、改善を図りました。それに伴う仕事面は事務長が実務を行うことで処理させてもらいました。

今、事務長会では「事務改善の取り組み」のテーマで、秋の研修会で2回の研究協議を行ってきています。事務室の現状は不適切な物品調達から派生した物品調達方法の運用改正や自家用車利用に伴う旅費改正など職務内容が煩雑化し、また、事務職員の定数の見直しなどで、「事務改善の取り組み」は時代の要請に応える調査研究と思っております。今後は事務職員がさらに減少することも考えられ、事務長自ら実務を行うことの必要性も感じています。

さらには、事務職員から提起された課題に対しては、適切な指導はもとより物心両面からの支援、具体的には、過去の通知・通達等の調査を行うなどの事務職員の負担を軽減できるような支援が必要と考えます。

最後に、事務長として自分なりの確固たる考えを持って、また事務室内の融和を図りながら、後進の指導に邁進してください。



今、できることを継続して

鳴滝高等学校 伊藤 正弘

みなさんこんにちは。初任者の事務職員として31年前県立琴海高校（現明誠高校）に4年間お世話になり、27年ぶりに県立学校の事務を執っていますが、学校勤務がつい先日のような気がしています。よろしくお願いします。

さて、久しぶりに学校事務の仕事をしてもらっていますが、4月、5月の忙しさからやっと解放され自分を取り戻し、普段のペースで仕事をしています。

今、学校ではコンピュータによって情報処理や伝達のスピードがとて速くなり、以前と比べて比較にならないほど便利になっていると感じています。学校での事務を久しぶりに執る私にとって、今まで扱っていたパソコンの画面の形式（OS）が変わっただけで、慣れるのに少し時間がかかってしまいましたが、その他事務の流れなど基本的なことは変わっていないような気がしています。

事務長の仕事は、はじめてですので皆さんからいろいろ教えていただきながら頑張りたいと思います。

さて、最近では「いままでやっとけばよかった。」「できたはずなのにできなくなってしまっている。」と後悔したことが少なからずあり（もちろん私的なことですが）、ここ4、5年前から少しでも後悔を少なくしたいと思い、現在、挑戦していることがあります。

まず、20分程度の朝の読書です。朝のバスの1時間の通勤時間があったいなくて何かできないかと思い、英会話でもいい何か身につくことでもと思ったのですが、朝の時間に頭の体操や覚える必要のあることは疲れるので、長編ものの小

説を読むようにしています。「三国志」「水滸伝」などを流して読んでいます。少しは気分転換になっているのではないかと考えています。

次に年2回はテントを持参して山歩きをしようと実行しています。体力の維持とストレス解消を図る目的で毎回テントを持参し、坊がつるで1泊し、近辺の大船山、中岳などを巡って長者原へ帰ってくるコースで、まだまだ行けると自信を取り戻しつつ重いバックパックを担いで歩いています。先日は中岳の頂上から下山する際に足下がおぼつかない老人の方がいたので年齢を聞くと84歳と聞いていましたが、午後1時過ぎでしたので無事下山できたか心配でした。また、星空を見上げながらビールで一人乾杯したり、山ガールと会えるなどいろいろ楽しみもあります。もちろん近くの山にも出かけています。

また、体を動かす時間がとれないので健康のため、帰りの帰宅時間などを利用し、1日1万歩を目標に歩いています。その他、毎週のジョギングなど。

これらは、ここ4年～5年の間継続して実行しています。「人は50歳から痴呆は進んでいくそうです。それを70歳で痴呆になるのか100歳で痴呆になるのかはその人の生活にかかっている。」という話も聞いています。今までの毎日を振り返りながら、この後に続く時間を楽しみながら残しておきたいと思っています。今できる簡単なことを継続して。



思いつくまま「〇〇と言えば」

壱岐商業高等学校 森岡 昌弘

昭和59年度に初任者として採用されて以来、平成24年3月31日8時20分、28年ぶりに新任事務長としてこの壱岐の島に再上陸した。

この再上陸は、ある程度予想していたとはいえ、現在の人事状況から推察すると今後も同様なことが起こり得るのかもしれない。

さて、まずは学校紹介をしておこう。

壱岐の島勝本町と言えば、壱岐商業高校。昭和24年に長崎県立壱岐高等学校定時制（昼間）勝本分校として始まり、学科改編及び施設新增改築を繰り返し現在に至っている。

新採として在職した昭和60年頃は、1学年商業科5クラスで、15クラス600名近くの生徒が在籍していた。しかし28年ぶり戻ってみると、1学年商業科2クラス、情報処理科1クラスとなっており、9クラス300名程度に半減してしまっている。壱岐といえども（失礼）、少子化の波は確実に来ているようだ。

また生徒の状況も変わってきており、本校のみならず、特別支援教育が必要な生徒も増えてきているようである。教員はもちろんカウンセラーあるいは養護教諭が対応する場面も多くなってきていると感じている。

さて、養護教諭と言えば、8月某日代替えの養護助教諭が採用期間を終え、壱岐の島をあとにした。岸壁では玄界灘に響き渡る太鼓演奏で、本校壱州荒海太鼓部が見送った。早くも「自分も盛大に見



岸壁の太鼓演奏

送られたい。」と思った。見送った後、28年前にはなかったと記憶する海水浴場「ツイズビーチ」なる所へ行ってみた。ここは2つの海水浴場が岬を挟んで位置するので「ツイズビーチ」と呼ばれているようだ。



砂浜の景色

ツイズビーチと言えば、あのTV番組「お見合い大作戦」の予告編のロケ地である。本番当日は、島外より約30名の女性が来島し、ここでも壱州荒海太鼓部が盛大に盛り上げる中、2000人を超える島民の歓迎を受け、その後多数のカップルができたようだ。先に記した生徒数減の原因でもある、少子化の波が消えればと願う。

この時の自分は本番前日に私用のため小倉に出かけ、二度とないであろう光景に立ち会うことはできなかった。

小倉と言えば、6月に九高Pの研究大会に参加した。大会会場は大学時代にレゴ（おもちゃのブロック）のショーのアルバイトをしたなつかしい場所であり、感慨深かった。事務長となり、初めてのPTA役員との研修会となった。「地域コミュニティとPTA活動」をテーマにした、パネルディスカッションであった。中でも高校生が2名参加し、1人は高校生ボランティアとして各種活動の中で、地域・学校・保護者との交流の場が広がったということであった。もう1人は女子商業高校で、今までの文化祭を女子商マルシェ（市場）と改称し、商業科目の総まとめとして、商品の仕入れから開発・販売等をしているとのことだった。PTAからは整理・案内・警備等協力をいただいているとのことであった。この研修会で地域・保護者との繋がりを考えさせられ、「すべてはこどもたちのために」を念頭に置き、渉外活動ができないか、またどうすることが事務職員にできるのかを模索中である。

最後に事務職員と言えば、近年のその仕事内容は、複雑・

煩雑・専門化してきており、正直なところ自分も含め、士気の低下が見られる。やはりこういったことがマイナス面を生むことになり、悪化の一方をたどると考えられる。このような状況を食い止めるために、事務長（=事務職員）と事務職員が

団結し、解決方法を見いだすことができればと願っている。事務職を取り巻く状況は、誰もが十二分に解っていると思われるので、全員足並みをそろえ一歩踏みだし、秋には一定の方向付けがなされることを期待するところである。

頼まれ事は試され事

平戸高等学校 福田 誠

「事務長会報「ばってん」の原稿をお願いしたいのですが」と電話があった時、「なぜ新任事務長の私に?」「他に適任の人がいるだろう」との思いが浮かび、直ぐ断わる理由を考えていた。しかし、ある講演のCDで聞いた『頼まれ事は試され事』を思い出し、引き受けてしまった。

「自分にできない事を他人は頼んでこない。頼み事をされたら、試されていると思え。できない理由をあげるのではなく、頼んだ人の予想を超える仕事をしろ。そうすることで道は拓ける。」と講演者は熱く語っていた。

年度末、私は鳴滝高校勤務3年目であったが、校長・事務長・昼間部教頭のお三方がご退職。事務長試験には受かっていたものの、多くの候補者が順番待ちという状況で、転勤は無いためと思っていた。内示日は、通常通りの仕事をしていたところ、校長室に呼ばれ「ちょっと遠いけど陸続きだから」と内示されたのが平戸高校の事務長だった。戸惑いと小さな喜び、そして大きな不安を抱えて赴任した。

平戸大橋の近くの平戸城下にあるのが猶興館高校。そこから30分ほど南下した平戸島の中部の草積町に平戸高校は位置し、自然豊かな恵まれた環境にある。生徒数172名、教職員32名の小規模校。うち事務室は事務長、主任主事、事務現業、

業務補助の計4名である。

巷では「平戸高校は、もうすぐ閉校する」との風評が広まっているらしい。それを払拭しようと、学校説明会・オープンスクールを開いて説明しているが参加者が少ない。そもそも少子化で地元の小学生・中学生の数は激減の一途をたどっているため、如何ともしがたい。そこで、校長を始めとして職員が丸となり、生き残り策を考え広報活動等を行っている。保護者・地元住民と連携して学校存続を「試されごと」と受け止め、頑張らなければならない。その手始めとして、今年9月から初めての長期留学生を受け入れる予定である。

4月当初は、わからないことばかりで右往左往し、時間だけが無駄に過ぎていたように思う。ようやく最近、管理職として学校運営にも携わり、事務全般の意思決定をすることに少しずつ慣れ、苦痛ばかりではなくなっている。しかし、給料は上がるどころか下がってしまった。住宅ローンと大学生の娘を抱えて単身赴任の身。交際費は嵩む一方で、退職金も減るとのこと。愛車のストリームは12年間乗り続け、走行距離は12万キロオーバー。そろそろ買い替え時期だが・・・。「武士は食わねど高楊枝」。娘が卒業するまではと、やせ我慢の毎日だ。



個人的ダイバーシティ論

大村特別支援学校 岡田 明美

突然ですが、「ダイバーシティ (Diversity)」という言葉をご存じでしょうか。聞いたことがある方もおられるでしょう。「ダイバーシティ」とは、広くは「多様性」という意味です。

欧米、特に米国社会においては、人種、国籍、性別、年齢、学歴などの差別を撤廃し、あらゆる多様性を尊重し、受け入れることにより、各自の持つ個性・能力を最大限に発揮してもらい、企業の信頼度や社会貢献度のアップを目指すことを「ダイバーシティ=多様性の受容」と捉えています。日本におけるダイバーシティとは女性、高齢者、障害者を積極的に雇用し、活躍の機会を広げることと、やや狭い意味で使われています。

さて、前置きが長くなりましたが、就任早々、県教委のある課長さんから「次に女性事務長は出てくるでしょうか。なぜ女性のみなさんは試験を受けないのでしょうか。」と問われました。私は言葉に窮し、その場は、「ハアアアどうしてでしょう。」で終わりました。

しかしながら、女性からすれば実は理由はいくらかもあるのです。「①能力に自信がない。」「②仕事と家庭の両立が困難。」「③責任を負いたくない。」「④出世願望が強いと思われたくない。」「⑤自分の時間を失いたくない。」「⑥学校経営のビジョンがない。」「⑦男性ばかりでイヤだ。」など。恥ずかしながらこれらは私の言い訳でもありました。

また、社会一般的に女性管理職の登用やリーダー育成については、女性の問題として女性に任せきりのところもあるかと思えます。私はむしろ校長や事務長など周囲の男性からの

ひと押しもまた重要なポイントではないかと考えています。「あなたは試験の対象になりました。」と伝達する際、ちょっと職員をその気にさせる何か二言、三言があれば、けっこううまくいくのではないのでしょうか。「試験は受けません。」「あーそうですかー。」でなく、プラスα。「あなたのセンス・個性が今、求められている。」「あなたのような人材がこれからは必要だ。」「みんなで応援するからぜひ前向きに考えてほしい。」もし職場に有能な方がおられるなら、男女に関係なく、ダイバーシティ(多様性の受容)の観点から、後押ししていただけないでしょうか。すみません。若輩者がエラソーに申し上げてしまいました。

最後に、私の勤務校である大村特別支援学校について簡単に紹介します。本校は病弱教育の特別支援学校です。最近では体や心の病等様々な問題を抱える子どもも数多く、近隣学校はもとより、いろいろなところからの引き合いもひっきりなしで、言わば駆け込み寺的な様相を呈しています。事務室は、私と3年目の事務職員1名、用務員1名、業務補助職員1名、栄養教諭1名で事務従事者としては3名です。施設整備や予算要求など女性二人で日々明るく元気ががんばっています。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。最高の笑顔でお迎えいたします。



児童生徒の安全のため寄宿舎前改修中



栄養教諭手作りの誕生日ケーキを手に



「おーい。元気にして
いるか？いつか、東京に
来ることはないのか？来
るときは連絡しろよ！」。
五月ごろになると、東京
で暮らしている「先輩」
からの電話が増える。

「朋有り、遠方より来
たる、亦た楽しからず
や。」ありがたいことで
ある。

「おい、東京に来ることはないか？」今年になって、「同級生」から電話があった。

ついにきたか、という感じである。民間では、六十歳の誕生日が退職の日になる会社もある。人は退職してしばらくすると、昔の友のことが気にかかるのだろう。

これまで、盆や正月に帰省した友と数年ぶりに会うことがあった。昔の友は、今も友である。会えば、たちまち十九、二十歳に戻って屈託がない。遠慮がない。いい気分である。

私も来年三月で退職である。「うれしいよな♪。怖いような♪。」である。

「さて？」、と考える。私は退職後、一体、何をしたらいいのだろうか。何ができるのだろうか。思わず足元が揺らぐ。先輩も同級生も、「さて？」と考えたのだろうか。それとも、

いよいよ自分の好きなことにチャレンジできると張り切ったのだろうか。

新たなスタートである。生涯スポーツに、囲碁やコーラスに或いは自治会活動にと、地域の仲間づくりに参加するもよし。家庭菜園や魚釣りなどの趣味から、農業や漁業などに職業として取組むもまたよしである。これまでのこと、これからのことを、同じ時代を生きてきた友に、一度ゆっくり話を聴きたいと思う。

「世の中に人の来るこそ うるさけれ とはいうもののお前ではなし」

「世の中に人の来るこそ うれしけれ とはいうもののお前ではなし」

私が訪ねたら、友は一体・・・。

六十歳か、あらためて、友を思う。



編集後記

今年の夏も過ぎ、すっかり秋の気配となりました。心配していた計画停電もなく、節電で乗り切ったと安堵していたところ、「今年の夏は暑くなかったんです。」と九電の担当者が資料を持って説明に来ました。「昨年、一昨年よりは、平均気温がずいぶん低かったんです。」との説明に、なにかしら「ピミョー」な感じを抱いたのは私だけではなかったと思います。

さて、今号の「ばってん」、日ごろの思いや意見を文章にさせていただき、改めて文章だからこそ「そうなんだ」と納得させられました。

寄稿のお願いに、快く引き受け執筆いただいた皆様方には、心からお礼申し上げます。

特に、お忙しい中今号への寄稿を快くお引き受けいただきました谷本参事監様、本当にありがとうございました。いただいた随想からは、退職をひかえた気持ちが伝わってまいります。

才津副会長には、今後の事務長会と事務長の在り方について、ご自分の経験を踏まえ、示唆に富んだ巻頭言をいただきました。時代の要請にこたえる「事務改善の取り組み」は不断に続けていかなければなりません。

職務が煩雑化し、職員が減少していく中、事務長会と事務職員協会は統合すべきか否か、その必要性、方向性については議論を深め結論を出す段階に近づいてきています。

「人の数だけ異見がある。」とは古代ローマの言葉ですが、集大成するときも誤らないようにしないとけないと思うところです。

(T.S)

